

# 市民文芸

## 歌壇

岩崎 聰之介 選

川霧に矛杉の森浮かびいでて七打ひびき来葉  
師寺の鐘 後藤今朝雄  
水の辺を雪白のセキレイかろやかに恋の相手  
と寄り添ひて行く 寺崎 悦子  
高齡の齒のコンクールに優勝し去年もちよつ  
びり良いことあった 石田みどり  
紅鮭を丸ごと捌く嫁おきて日日の夕餼に足ら  
いつつ老ゆ 大槻 きよ  
種播いて孫が初めて作りたるそば持ちて来る  
年越しの今日 山田 濱  
庭先の土押し上げる球根にがんばってよと声  
かけてみる 佐藤 啓子  
正月に閉戸裏かこみて餅を焼く昔なつかしか  
の頃はよし 阿部はぎの  
白鳥が流れに数多憩ひをり何故か群れを離る  
る一羽 高子うこん  
風邪ひきの吾に代りて厨べに家事する夫のき  
こちなきなり 鈴木 茂子  
初に買うケータイなれば撫でてみて開いて子  
等にメールしてみる 大庭 良子

評 一首目、四句五句は倒置。一帯の朝の情  
景を丁寧にとらえられた。矛杉は、矛の形に  
まっすぐ伸びた杉。その森は境内にある。  
二首目、セキレイたちの姿を、若々しく描  
かれた。  
三首目、身辺の報告だが、喜びの気持ちをは  
さらりと出しておられ親しめる。

## 俳壇

遠藤 秋尾 選

遙拝で済ます八十路の初詣  
空凍る光の遠く夜の星 岩澤 伍峯  
七草の色鮮やかや粥する 福原 隆志  
有り合せ揃いて今朝の七日粥 阿部はぎの  
冬の虹神のいたずらかと思ふ 跡部祐三郎  
薄水バリバリと踏んでみる 佐藤 啓子

# 風間市長の風のそよぎ

## 江戸

「江戸」と聞くと、皆さんは何を連想されますか？「東京の昔の名前」「江戸時代」「まつり」などを思い浮かべると思います。その中でも真っ先に連想されるのが、東京の旧名でしょう。「江戸」という地名は、いつごろから使われたのかという疑問がわき、インターネットで検索してみました。徳川家康公が幕府を開いた時にできた町かと思いきや、さにあらず。江戸の文字が文献に初めて現れるのは、なんと鎌倉幕府の歴史書『五豆妻鏡』で、おおよそ平安時代末期には実在した地名であると言われています。そんな昔から「江戸」という地名があったとは驚きです。1457年に関東管領上杉氏の一族、扇谷上杉家の家臣であった太田道灌公が江戸城を築城し、1590年には徳川家康公が関東地方の中心となるべき居城を江戸に定めました。関ヶ原の戦いで勝利を経て、1603年に征夷大将軍に任命され、江戸に幕府を開いたことにより、本格的な城下町への大改造を行ったそうです。江戸時代初期の江戸の範囲は、現在の千代田区とその周辺だけだったようですが、1657年の明暦の大火後、再建事

七捕物帳」「大江戸捜査網」など。江戸の町を舞台にした作品が多く、またそれが痛快で面白かったのを覚えています。池波正太郎原作「火付け盗賊改方、長谷川平蔵である。神妙にお縄につけ！」でおなじみの「鬼平犯科帳」は、勧善懲悪の中にも人情味あふれるストーリーや、歯切れの良い江戸弁、情景を伝えるナレーションやオーブニングテーマ曲、BGMに至るまで、今でも大好きな時代劇です。

【2月号の答え】  
当時の首相は池田勇人氏。東京都が世界初の1,000万人都市となり、テレビ受信契約者数が1,000万件（普及率は全世帯の48.5%）を突破。国産旅客機YS-11が初飛行に成功。盛り場でツイストが流行しました。

業により範囲は拡大し、18世紀初頭には人口100万人を超え、八百八町といわれる世界有数の大都市へと発展しました。その江戸が今の東京の原点ですが、成り立ちに驚くとともに、さらなる発見をしました。ともあれ、私たちが江戸を感じるのには時代劇ではないでしょうか？ おばあちゃん子だった私も、よく一緒にテレビの時代劇を見たものです。「銭形平次」「大岡越前」「遠山の金さん」「半

中村吉右衛門さんの演技力と鬼平が実在の人物であることも私にとっては魅力の一つです。何気ない物事に対し疑問を持ち自ら調べたりその地を訪ねたりすると、新たな事実を知ることができ、そこから世界が広がっていきます。昔、母親に「分からないことは辞書を引いて調べなさい」と言われました。それは、単に知識を増やすだけではなく、自ら探る面白さや新たな発見の喜びを体感させてくれたのだと、いまさらながら感謝しています。いよいよ新学期が始まります。皆さんに限らず、皆さんも調べることを習慣付け、知る楽しさを味わってみてください。私はまた江戸に会議に行つてきます！ 江戸のことはまたいずれ…。

淡雪に猫の足跡清く  
初日の出白垂の城の輝けり 制野 リエ  
大仏は猫背におはす冬木立 高子うこん  
帰省子のために肉ジャガ作りぬし 斎藤 典子  
跡部 祐子

評 一句目、いつも初詣なさるのだが、今年は無理せずに遙拝をして平安を祈る姿が、すがすがしく目に浮かぶ。  
二句目、寒の星の光を一句に。  
三句四句は、七草粥の朝の様子を平明な言葉で表現した好句となった。今年には寒暖の差が大きくはやり風邪が下火となるも、皆さまのご自愛を祈ります。  
4月4日(日)より市民俳句初心者講座を開きます。詳しくは26ページをご覧ください。ぜひご参加ください。

## 柳壇

四電 英夫 選

来たようだ春の足音花粉症 佐藤 啓子  
孫受験テレビ控えて手話交え 水戸 光穂  
耐えること覚えてからの気のゆとり 草野 清  
朗々と心に沁みる風の音 阿部はぎの  
家計帳ぼやき飛び出す年の暮れ 寺崎 悦子  
まだ生きているつもりくすり飲みつづけ 高子うこん

評 一句目、春の訪れとともに花粉もやってくる。少しでも軽く済んでほしいと願わずにはいられない。「インフルの次は花粉のマスク族」。  
二句目、受験生の家庭では、騒音・雑音に気を使う。家族全員が息を凝らすかのよう。それだけに「サクラサク」の喜びはひとしお。  
三句目、世知辛い世の中。腹の立つことも多い。そんな時、ニッコリ笑って聞き流すゆとりがあれば最高。癪に障れば水を飲め？



# 国際コーナー

## International Corner

### 「バスタイム (Bath Time)」

1998年の冬初めて日本に来た時、印象に残った思い出がいっぱいあります。その思い出の中のトップ5には、やはり「冬の熱い風呂」があります。

留学する前に、日本の習慣についての講習に参加したら、日本では家族全員が同じお湯を使うと聞き、ちょっとビックリ。だって、うちの家族はお風呂に入るとは少ないし、入るときは必ずそれぞれにきれいなお湯を入れるんだから。干ばつ状態の国なのに、もったいないですね。オーストラリア人にいくら「日本のお風呂の「入り方」(＝最初に体をタオルなどで洗う)」を説明しても、同じお湯を使うのは汚いと思うでしょう。

でも、本当に「お風呂の文化」を理解するには、風呂場の作りの違いを考えて見ることも重要だと思います。日本ではトイレとお風呂が別々で、「風呂場」を好きなだけぬらしても良いのです。けれども、オーストラリアの風呂場は、基本的にトイレとお風呂とシャワーの部屋が一緒になっていて、シャワーは地面をぬらさないようにカーテンかガラスに囲まれた、固定式タイプになっています。そして、「お風呂に入るときはシャワーを浴び

ない」という人も少なくはないです。地面をぬらすことが面倒だし、お風呂にゆっくり入る習慣がありません。異常なストレスを感じていなければね。

その上、多くのお風呂が「足が伸ばせる「細長いタイプ」」なので、お湯をたくさん使うし、すぐにぬるくなるし、上半身が出てしまうので体が冷えてしまいます。もちろん、温度調節機やタイルヒーターなど、お金があればいくらでも加えられます。実際、立派なお風呂場を作る家庭が多いです。日本のお風呂の入り方をお手本にすれば、そんなにたくさんのお金はいらさないし、もっとリラックスできるバスタイムを楽しめるのではないかと思います。帰国したら、日本の温泉とお風呂の良さを伝えてみます！



僕の家のバスルームです。シャワーは固定で、ガラスで囲まれています。きれいでしょ。

# まちの話題

～あの日、あの時～

## やった！ 取ったぞ！ 白川小学校第33回動くジャンボカルタ取り大会

1月21日、白川小学校(小山善史校長)で第33回動くジャンボカルタ取り大会が開催されました。

今年のテーマは「学校」。児童たちが考えた読み札を基に、昨年12月から4・5・6年生が取り札の下絵を描き、1月8日の全校のカルタ準備会で縦割り班ごとに絵の具で色付けを行いました。

午前9時から始まった競技では、全校児童75人のほか、今年入学予定の白川保育園とひかり幼稚園の園児たちも参加。読み札が読まれ競技が始まると、逃げ回る取り札を元気いっぱい追い掛けていました。

見事、札を取った児童たちは1人ずつ壇上に上がり、名前とともに「やった！ 取ったぞ！」と大きな声で叫び、大会に詰めかけた多くの保護者や地域の皆さんから、

大きな拍手が送られました。約1時間にわたる熱戦の結果、78点を獲得した黄色チームが優勝して大会の幕を閉じました。



▲今年4月に入学する子どもたちも大会に参加！

# Diary